

彙 報

教員の主な研究活動・社会活動 (2022年度)

*2021年度紀要掲載分以降（2021年11月から2022年10月まで）

**2022年度に新規に採用された教員は過去5年間の業績を含む

***各学科ごと教員五十音順に掲載（2022年度紀要は、「福祉コミュニティ学科」教員分を先に掲載する）

****彙報の執筆要領は以下の通り

（氏名）〇〇 〇〇

I. 主な研究活動

1. 著書・論文・作品発表・演奏等
2. 学会発表
3. 報告書
4. 科研費等研究
5. その他

II. 主な社会活動

1. 所属学会・職能団体および役職等
2. 行政・関係団体活動等
3. 研修会・講演会等
4. その他

※彙報編集作業にご協力ください。

①文字について

フォントは本文に関しましては「ゴシック」で、数字に関しましては「Century」で、フォントサイズは10.5での入力をお願いいたします。

②項目について

著書、論文等は必要に応じて、以下（1）（2）等見出しを立ててご記入ください。他の項目に関しましては同様にお願いいたします。

③本紀要において記載すべき著書・論文・学会発表等の表記方法は、先生方の所属されている主な学会における表記方法でかまいません。

大津 雅之

I. 主な研究活動

1. 著書・論文・作品発表・演奏等

・著書

- (1) 共著：(編集) 障害福祉サービス実務研究会・(代表) 柳田正明『わかりやすい 障害福祉サービスの実務―追録第7・8合併号―』新日本法規、2021年11月、1125 - 1126、1130 - 1131、1142 - 1143、1146 - 1147、1165 - 1167、1170 - 1171、1183 - 1184、1185 - 1186、1196 - 1197、1205、1205 - 1207、1213 - 1217、1217 - 1218ページ。
- (2) 単著：「第3章『気になる子ども』をめぐって―ソーシャルワークの視点から―」小川英彦・田中謙編著『ダイバーシティ・インクルージョン保育』三学出版、2022年8月、33 - 38ページ。

・論文

- (1) 単著：大津雅之「『自己覚知』から考えるピア・グループ・スーパービジョンの有用性」『山梨県立大学人間福祉学部紀要』第17号、2022年3月、37-53ページ。

2. 学会報告

(口頭発表)

- (1) 単独：大津雅之「ソーシャルワーカーの『自己覚知』を『学習社会学』から考察する意義―ソーシャルワーカーによるスーパービジョンの観点から―」日本学習社会学会 第19回大会、2022年9月、東京学芸大学。
- (2) 共同：○青柳修平 (TRINITY SOLUTION)・大津雅之 (山梨県立大学)・田中謙 (日本大学) 「障害者就労支援施設における業務マネジメントに関する研究― 薪生産を安定化させるシミュレーションモデルの構築 ―」日本社会福祉学会 第70回秋季大会、2022年10月、関西福祉科学大学。
- (3) 共同：○大津雅之 (山梨県立大学)・青柳修平 (TRINITY SOLUTION)・田中謙 (日本大学) 「自閉症者が行う作業工程における『保護バッファ』概念導入の重要性― 障害者就労支援施設における自閉症者が行う薪割作業を中心として ―」日本社会福祉学会 第70回秋季大会、2022年10月、関西福祉科学大学。

(司会)

- (1) 日本社会福祉学会 第70回秋季大会、関西福祉科学大学、障害(児)者福祉(精神障害含む) (2) (D4-306) 分科会司会、2022年10月16日。

3. 競争的資金による研究および教育実践

- (1) 令和3年度山梨県立大学地域研究交流センター 地域研究事業「『ピア・グループ・スーパービジョン』の有用性に関する研究―中央市・昭和町障がい者相談支援センター『穂の

か』を事例として一」(研究代表者：大津雅之・共同研究者：田中謙・研究協力者：阿諏訪勝夫、由井美希依、平野真琴、樋口朱美)、2021年度。

- (2) 公益財団法人大同生命厚生事業団 地域保健福祉研究助成「自閉症者の障害特性に合わせた業務量調整のためのシミュレーションモデル作成」(研究代表者：青柳修平・研究分担者：大津雅之、田中謙、青柳暁子、八巻光太郎、横内幹)、2021年9月-2022年8月。

4. 報告書

- (1) 共著：『令和3年度山梨県立大学地域研究交流センター 地域研究事業 「ピア・グループ・スーパービジョン」の有用性に関する研究—中央市・昭和町障がい者相談支援センター「穂のか」を事例として— 実施報告書』(著：大津雅之、田中謙、阿諏訪勝夫、由井美希依、平野真琴、樋口朱美・編集：大津雅之・発行 山梨県立大学地域研究交流センター・制作：株式会社 たけまる)、2022年3月発行。

II. 主な社会活動

1. 所属学会・職能団体および役職等

所属学会

- 日本社会福祉学会 (会員)
- 日本ヘルスプロモーション学会 (会員)
- 日本学習社会学会 (会員)
- 日本教育福祉学会 (会員)

職能団体

- 日本社会福祉士会 (会員)
- 山梨県社会福祉士会 (会員・理事)
- 日本介護福祉士会 (会員)
- 山梨県介護福祉士会 (会員)

2. 行政・関係団体活動等

- (1) 山梨県障害者自立支援協議会 相談支援・人材育成部会 協力員、2017年度～現在
- (2) 中央市・昭和町地域自立支援協議会 協議会委員、2018年度～現在
- (3) 一般社団法人山梨県社会福祉士会 理事、2020年度～2021年度
- (4) 中央市・昭和町計画相談事業所連絡会スーパーバイザー・アドバイザー、2021年度～現在
- (5) 中央市・昭和町障がい者相談支援センター「穂のか」事例検討会スーパーバイザー・アドバイザー、2021年度～現在

3. 研修会・講演会等

- (1) 山梨県立甲府城西高等学校 高校大学間連携授業「福祉と看護」：「数ある人を支援するための専門職の中におけるソーシャルワーカーの役割—社会福祉士を例にして—」講師 山梨県立甲府城西高等学校：2021年11月16日

- (2) やまなし勤労者福祉会 ソーシャルワーカー研修会：「対人援助専門職の中におけるソーシャルワーカー（社会福祉士）の役割」講師 社会福祉法人 やまなし勤労者福祉会 ZOOM による遠隔講義 ＊山梨県立大学大津研究室より ZOOM を使用しての遠隔講義：2021年12月24日
- (3) 令和4年度山梨県相談支援従事者現任研修「人材育成 スーパービジョン」講師 ZOOM による遠隔講義 ＊山梨県立大学大津研究室より ZOOM を使用しての遠隔講義：2022年6月29日
- (4) 令和4年度 中央市・昭和町計画相談事業所連絡会「中央市・昭和町の障害者福祉の現状をピアグループスーパービジョンで語り合おう」講師・スーパーバイザー・アドバイザー 中央市・昭和町障がい者相談支援センター「穂のか」および山梨県立大学大津研究室より ZOOM 配信で開催：2022年9月30日・11月25日・2023年1月27日・3月24日＝計4回（予定）
- (5) 令和4年度 TMG 医療福祉部全体研修 「TMG におけるソーシャルワーカーの自己覚知に関する共通認識的枠組みの構築」講師（単独） 戸田中央メディカルケアグループ 医療福祉部 ZOOM による遠隔講義 ＊山梨県立大学大津研究室より ZOOM を使用しての遠隔講義：2022年10月1日・8日・22日・29日（参加者170名以上のため同一内容を4回に分けて実施）

金 碩浩

I. 主な研究活動

1. 著書・論文

(著書)

金碩浩ほか編著 (2022) 『2022山梨の子ども白書～子どもたちのしあわせを願ってよっちゃんばる』「山梨の子ども白書」編集委員会

(論文)

金碩浩 (2022) 「韓国の自活事業における包括的ソーシャルワークの構造分析—『自活事例管理』に着目して—」、『金城学院大学論集社会科学編』、第18巻第2号、pp.16-29.

金碩浩 (2022) 「韓国の老人長期療養保険制度の労働供給効果—主たる家族介護者である女性家族を中心に—」、『山梨県立大学人間福祉学部紀要』、第17号、pp.24-36.

金碩浩 (2022) 「韓国の国民基礎生活保障制度における『自活事業』の形成と展開—運動と制度化の視点から—」、『山梨県立大学人間福祉学部紀要』、第17号、pp.78-91.

金碩浩 (2022) 「介護保険制度の需要の価格弾力性の推定—パネルデータによる検証」、『金城学院大学論集社会科学編』、第19巻第1号、pp.1-25.

(報告書等)

金碩浩 (2022) 「コロナ禍で山梨県内の学生生活はどう変わったのか?—令和3年度『コロナ禍における山梨県内の学生生活実態調査』の結果より—」、山梨県立大学地域研究交流センター、「令和3年度地域研究事業研究報告書」、pp.1-14.

金碩浩 (2022) 『『2022山梨の子ども白書』編集・出版事業』、山梨県立大学地域研究交流センター、「令和3年度地域実践事業報告書」、pp.1-8.

2. 学会・研究会報告

金碩浩 (2022) 「韓国におけるプラットフォーム労働者の現状」、貧困・公的扶助研究会 (2PS)、大谷大学、2022年11月13日 (日)

II. 主な社会活動

1. 所属学会・職能団体および役職等

日本社会福祉学会 (会員)、社会政策学会 (会員)、貧困研究会 (会員)、

日本生活経済学会 (会員)、全国公的扶助研究会 (会員)

貧困・公的扶助研究会 (2PS) (会員)

東海地域ホームレス・生活保護研究会 (会員)

2. 行政・関係団体活動等

韓国・金海市民主青年会 在外委員 (現在)

反貧困ネットワークあいち 会員 (現在)

「山梨子ども白書」編集委員会 編集委員 (現在)

「山梨子ども白書」編集委員会 事務局長 (現在)

社会福祉法人「やまなし勤労者福祉会」理事 (現在)

日本政策学生会議 (ISF) 政策提言論文2022年度査読審査委員 (現在)

橋爪 大輝

I. 主な研究活動

1. 著書・論文・作品発表・演奏等

著書（単著）

- (1) 橋爪大輝『アーレントの哲学——複数的な人間的生』みすず書房、2022年。

論文（単著）

- (1) 橋爪大輝「なぜ物語に必然性が必要なのか——アーレント物語論の展開」『山梨県立大学人間福祉学部 紀要』第17号、1-12頁、2022年3月。
- (2) 橋爪大輝「なにが行為を行為たらしめるのか——シュッツの行為論」『倫理学年報』第71集、日本倫理学会、159-172頁、2022年3月。

4. 科研費等研究

- (1) 「『批判版全集』の精査にもとづいたアーレントの思想形成過程の解明」日本学術振興会科学研究費助成事業、基盤研究（C）、課題番号21K00100、期間2021年-2024年、研究分担者（※2022年4月より参加）。
- (2) 「テクノロジー時代の人間の条件——アーレント思想の応用可能性」日本学術振興会科学研究費助成事業、基盤研究（C）、課題番号21K00042、期間2021年-2024年、研究分担者（※2022年4月より参加）。

5. その他

- (1) 橋爪大輝ほか「2022年上半期の収穫から」『週刊読書人』2022年7月22日号、1面。

II. 主な社会活動

1. 所属団体・職能団体および役職等

所属学会

日本倫理学会（会員）、社会思想史学会（会員）、政治思想史学会（会員）、日本アーレント研究会（スタッフ）

3. 研修会・講演会等

- (1) 子育て支援員研修「対人援助の価値と倫理」講師、於・山梨県立大学、2022年8月25日。

柳田 正明

I. 主な研究活動

1. 著書・論文・作品発表・演奏等

1. 単共著『Q & A 障害者福祉・支援の手引』追録68・69号以降2回 新日本法規 2021
2. 編著 編集代表『わかりやすい障害者福祉の実務』新日本法規 追録5・6号、7・8号 2021
3. 単共著『Q&A 社会福祉法人の法務・会計・税務』新日本法規 追録55・56号、57・58号 2021

II. 主な社会活動

1. 所属学会・職能団体および役職等

日本社会福祉学会、日本介護福祉学会、日本行動分析学会、日本発達障害学会、日本リハビリテーション連会科学学会、日本保健医療福祉連携教育学会 日本社会事業大学社会福祉学会

2. 行政・関係団体活動等

- ・日本リハビリテーション連携科学学会社会リハビリテーション研究会幹事
- ・日本保健医療福祉連携教育学会学会誌査読委員
- ・独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園参事（調査研究担当）
- ・独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園研究会議委員
- ・独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園研究倫理審査会委員
- ・新宿区介護認定審査会座長
- ・新宿区障害者施策委員会委員
- ・墨田区障害認定審査会委員
- ・墨田区障害者自立支援協議会副委員長
- ・日本知的障害者福祉協会社会福祉養成所運営委員会委員
- ・日本知的障害者福祉協会社会福祉士養成所講師
- ・社会福祉法人旭出生産福祉園オンブズパーソン
- ・社会福祉法人立正光生園監事
- ・川崎市民間活用委員会委員
- ・認定社会福祉士機構登録認定社会福祉士スーパーバイザー
- ・山梨県障害者施策委員会委員長
- ・山梨県市民後見人基礎講座講師

池田 充裕

I. 主な研究活動

1. 著書・論文・報告書等

- (1) 池田充裕「教育課程の概要 シンガポール」「教育課程改革の諸課題 3『内容』の構成 シンガポール」「教科横断的な学習・現代的な諸課題」『学校における教育課程編成の実証的研究報告書5 諸外国の教育課程改革の動向』国立教育政策研究所、2022年3月、28-29頁、94-97頁、118-121頁。
- (2) 池田充裕「教科書制度一覧表」「各国の概要」『海外教科書制度調査研究報告書』公益財団法人教科書研究センター、2021年11月1日、WEB公開資料。
- (3) 小尾栄子、渡邊輝美、須田由紀、池田充裕、橋本憲幸、加藤順彦、石原敬子、佐野亀久子、村松照美「在留外国人母子の妊娠期から育児期の多重課題とその支援」『地域ケアリング』24巻8号、2022年6月、48-52頁。

2. 科研費等外部資金研究

- (1) 研究代表者「シンガポールにおけるアクティブ・ラーニングの評価・改善システムに関する実証的研究」2018～2022年度科学研究費補助金・基盤研究(C)(一般)(課題番号18K02392)。
- (2) 研究代表者「シンガポールの教育省立幼稚園の教育実践とその機能に関する実証的研究」2022～2025年度科学研究費補助金・基盤研究(C)(一般)課題番号(22K02332)。
- (3) 研究協力者「学校における教育課程編成の実証的研究」プロジェクト研究(諸外国調査班)国立教育政策研究所、2021年6月28日～2022年3月31日。
- (4) 研究協力者「海外教科書制度調査研究」公益財団法人教科書研究センター、2018年9月11日～2023年3月31日。

II. 主な社会活動

1. 所属学会・職能団体および役職等

- ・日本比較教育学会、日本教育学会、異文化間教育学会、日本教育行政学会、日本教育制度学会、日本教育政策学会、日本保育学会

2. 行政・関係団体活動等

- (1) 山梨県教育委員会・教員育成協議会(委員)
- (2) 山梨県教育委員会・少人数教育推進検討委員会(委員)
- (3) 山梨県・私立学校審議会(委員)
- (4) 山梨県県民生活部私学・科学振興課・公教育における私学のあり方に関する検討委員会(委員)
- (5) 山梨県教育委員会・総合教育センター活性化検討委員会(委員)
- (6) 山梨県教育庁高校教育課・山梨県立学校いじめ問題対策委員会(臨時委員)

- (7) 山梨県教育委員会・教育委員会の活動状況報告「学識経験者からの意見」担当
- (8) 山梨県教育委員会・動画を活用した教職の魅力発信業務に係る企画提案審査会（委員）
- (9) 北杜市教育委員会・いじめ問題専門委員会（委員）
- (10) 甲斐市教育委員会 甲斐市いじめ問題対策委員会（委員）
- (11) 甲斐市教育委員会 甲斐市いじめ防止連絡会議（委員）
- (12) 山梨県立中央高等学校・学校評議会（委員）
- (13) 日本 PTA 全国協議会・PTA 関係文部科学大臣表彰候補選考委員会（委員）
- (14) 甲府信用金庫・公益財団法人しんきん育英会（理事）

3. 研修会・講演会等

- (1) 「高学力国家シンガポールの教育の光と影ー実力主義政策の功罪と今後の教育改革の動向」
静岡県立大学国際関係学部「Study Circle」講師、2022年2月27日、オンライン講演。
- (2) 子育て支援員研修「地域保育コース（地域型保育）」講師、「総合演習」「グループ討議」
担当、2022年8月25日、9月8日、主催：山梨県福祉保健部子育て支援課、会場：山梨県立大学。

4. 論文審査委員等

- (1) 日本教育学会機関誌編集委員会「論文審査」委員、2022年9月。
- (2) 東京外国語大学大学院博士後期課程「博士学位論文審査委員会」委員、2022年9月。

太田 研

I. 主な研究活動

1. 著書・論文等

(1) 著書

- 1) 遠藤 愛・宇田川和久・高橋幸子,・山口伸一郎・太田 研・柝金 聡・須藤邦彦・渡邊孝継 (2022). 特別支援学校教育実習ガイドブック——インクルーシブ教育時代の教員養成を目指して—— 学苑社 【分担執筆】 分担範囲:第5章「実習日誌」(pp.75-84)、第8章「インクルーシブ教育に向けて」(pp.121-125)
- 2) 大石幸二 (編集主幹)・池田 健・太田 研・大林裕司 (編集) (2022). 標準公認心理師養成テキスト 文光堂 【共編著者】 編集範囲:Ⅳ. 知覚・認知・学習・言語;Ⅴ. 発達・教育・学校・障害 (計44頁の執筆と担当章の編集)

(2) 論文

- 1) 太田 研・鳥居美佳子・古屋祥子 (2022). 保育学の初学者を対象とした保育者特性および社会人基礎力に関する省察の特徴. 山梨県立大学人間福祉学部紀要, 17, 92-102.
- 2) 鳥居美佳子・太田 研・古屋祥子・奥谷佳子・高野牧子 (2022). 保育学の初学者を対象とした協働的自己分析. 山梨県立大学人間福祉学部紀要, 17, 103-110.

2. 学会発表等

- 1) 太田 研・鈴木 勲・和田一郎・仙田 考 (2021). 一時保護所職員が求める人材育成のあり方に関する自由記述の計量テキスト分析. 日本子ども虐待防止学会第27回学術集会かながわ大会抄録集, P1-02. 【ポスター発表】
- 2) 仙田 考・鈴木 勲・和田一郎・太田 研 (2021). 一時保護所等の人材育成の研修に関する調査からみる施設環境・環境構成とのかかわりに関する一考察. 日本子ども虐待防止学会第27回学術集会かながわ大会抄録集, P1-03. 【ポスター発表】
- 3) 鈴木 勲・和田一郎・太田 研・馬場貴孝・小積律子・仙田 考 (2021) 児童相談所一時保護所及び一時保護機能を有する児童養護施設の人材育成・研修体系のあり方に関する研究. 日本子ども虐待防止学会第27回学術集会かながわ大会抄録集, S1-07. 【シンポジウム】
- 4) 太田 研・須藤邦彦 (2022) マネジブル・ビデオフィードバックによる特別支援学校教員の省察特徴. 日本特殊教育学会第60回大会発表論文集, P8-17. 【ポスター発表】

3. 報告書等

- 1) 太田 研 (2022). 自由記述の分析結果 (pp.29-41) 鈴木 勲・和田一郎・仙田 考・太田 研:2021年度公立大学法人会津大学競争的研究費採択事業・報告書 児童相談所一時保護所の効果的な研修パッケージモデルの開発及び評価のあり方に関する調査研究
- 2) 太田 研 (2022). 第4章 提言:新たな「つながり」による可能性と方策 (pp.10-21) 山梨県社会教育委員の会議提言書:新たな「つながり」で可能性が広がる新しい時代の社会教育のあり方——多様な主体との連携・協働による地域ネットワークを生かして——

4. 競争的資金獲得

[研究代表者]

- 1) 太田 研：重度知的発達症児の適応行動増進を目指すアシティブ・モニタリング技術の開発，科研費（若手研究），課題番号：19K14305，2019年4月—2022年3月
- 2) 太田 研：自己決定尺度日本語版の開発による発達障害児のエージェンシー基盤能力の解明，科研費（基盤研究（C）），課題番号：22K02441，2022年4月—2026年3月

[研究分担者]

- 1) 児童相談所一時保護所の効果的な研修パッケージモデルの開発及び評価のあり方に関する調査研究，2020年度公立大学法人会津大学競争的研究費採択事業，2021年06月—2022年03月，研究代表者：鈴木 勲（会津大学短期大学部）

II. 主な社会活動

1. 所属学会・職能団体および役職等

[所属学会]

日本行動分析学会、日本認知・行動療法学会、日本発達心理学会、日本臨床発達心理士会、日本特殊教育学会、日本LD学会、日本発達障害学会、日本発達障害支援システム学会、日本授業UD学会、日本保育学会、こども環境学会、日本子ども学会、日本社会福祉マネジメント学会、日本子ども虐待防止学会

[役職]

日本授業UD学会 理事

2. 行政・関係団体活動等

- 1) 武蔵村山市特別支援教育専門委員会委員（2014年4月—現在に至る）
- 2) 武蔵村山市入級支援委員会委員（2014年4月—現在に至る）
- 3) 一般社団法人東京特別支援教育心理研究センター運営委員（2019年4月—現在に至る）
- 4) 山梨県教育委員会調査研究会委員（2020年4月—現在に至る）
- 5) 山梨県社会教育委員（2020年11月—現在に至る）

3. 研修会・講演会等

- 1) 埼玉県春日部市立公立小学校 校内研究指導・助言「教育のユニバーサルデザインを持続可能にするために」講師（2021年11月）
- 2) 都留市立禾生第一小学校 校内研修「LGBTQ+に対して理解を深めるために」講師（2021年12月）
- 3) 甲府少年鑑別所地域援助推進協議会「子の家庭内暴力における保護者支援の在り方」講師（2022年1月）
- 4) 一般社団法人日本授業UD学会 スキルアップセミナー「自ら考え動く子どもが育つ褒め方」講師（2022年1月）
- 5) 一般社団法人日本社会福祉マネジメント学会「東京都保育士等キャリアアップ研修（幼児

- 教育)」(2022年2月,計15時間)
- 6) 武蔵村山市教育委員会 発達障害に対する理解と支援を推進するための講演会「学校と家庭が共に支える発達障害のある子供のウェルビーイング」講師(2022年8月)
 - 7) 山梨県私立幼稚園連盟中部地区研究会「愛着形成と心の育ち」講師(2021年11月～2022年10月)
 - 8) 山梨県中堅教諭等資質向上研修「学級経営に必要なコミュニケーション」講師(2022年5月～7月,計4回)
 - 9) 山梨県立大学受託子育て支援員研修「子どもの発達」「乳幼児の発達と心理」「地域型保育における保護者への対応」「グループ討議」講師(2022年7月～10月,計4回)
 - 10) 山梨県放課後児童支援員認定資格研修「子どもの発達理解」「児童期(6歳～12歳)の生活と発達」(2022年9月,計2回)
 - 11) 一般社団法人 公認心理師の会 ワークショップ: 保育所・幼稚園から小学校への移行支援と多職種連携「移行支援に関する幼稚園の現状」講師(2022年10月)

奥谷 佳子

I. 主な研究活動

1. 著書・論文・作品発表・演奏等

研究ノート

- (1) 保育学の初学者を対象とした協働的自己分析 鳥居美佳子・太田研・古屋祥子・奥谷佳子・高野牧子 山梨県立大学人間福祉学部紀要 第17号 pp.103-110 (2022年3月)

2. 学会発表

ポスター発表

- (1) 感染症対策が保育におよぼす影響 食事場面における楽しく食べるための保育者の働きかけに着目して 鳥居美佳子・奥谷佳子・浅田美桜・手塚沙織 日本家政学会第74回大会研究発表要旨集 p.60 (2022年5月)

II. 主な社会活動

1. 所属学会・職能団体および役職等

日本保育学会

日本乳幼児教育学会

日本家政学会

日本臨床発達心理士会

2. 行政・関係団体活動等

- (1) 幼児教育推進委員会委員 (山梨県) 2022年度

3. 研修会・講演会等

- (1) 子育て支援員研修 地域保育コース (地域型保育) 講師 「子ども・子育て家庭の現状」 「保育の原理」担当 2022年8月22日 主催：山梨県福祉保健部子育て支援課 会場：山梨県立大学飯田キャンパス
- (2) 山梨県私学教育振興会山梨県私立幼稚園連合会 中部地区研究会講師 第2分科会「同僚性を育む“語り合い”“学び合い”」担当 2021年11月17日、2022年1月12日、6月8日、7月6日、10月12日 主催：山梨県私学教育振興会山梨県私立幼稚園連合会 会場：中部地区の幼稚園
- (3) 山梨県幼児教育研究協議会講師 「研究主題2 指導計画の作成、保育の展開、指導の過程の評価・改善について」2022年6月7日、8月23日、11月29日 主催：山梨県、山梨県教育委員会 会場：山梨県立青少年センター
- (4) 月齢別講座講師 「絵本の世界を一緒に楽しみましょう」2022年6月17日 主催：甲府市幼児教育センター 会場：北部幼児教育センター
- (5) 令和4年度中堅教諭等資質向上 園内研修 (八街市立川上幼稚園) 講師 2022年7月8日 主催：千葉県教育委員会 会場：千葉県八街市立川上幼稚園

里見 達也

I. 主な研究活動（※育児休業取得したため、2020.10～2022.11を明記）

1. 著書・論文・作品発表・演奏等

(1) 著書

- ・共著『ヴィゴツキー理論でのばす障害のある子どものソーシャルスキル；日常生活と遊びがつくる「発達の社会的な場」』アーラ・ザクレーピナ〔著〕、広瀬信雄〔訳〕（担当：解説）212-216頁、明石書店、2020年11月18日
- ・共著『2022 山梨の子ども白書』山梨の子ども白書編集委員会編（担当：4「学童保育での相談支援から見てきた関係者同士の協働支援の実際」）118-119頁、山梨の子ども白書編集委員会、2022年3月31日

(2) 論文

- ・単著「障害児に寄り添う教授学の方法を探る－障害児を対象とした授業実践の研究から－」山梨大学教育人間科学部障害児教育講座『山梨障害児教育学研究紀要』第15号、59-68頁、2021年2月
- ・共著「小学校における障害理解教育の展望－「知見」と「かかわり」及び教師の役割－」山梨大学教育人間科学部障害児教育講座『山梨障害児教育学研究紀要』第15号、69-73頁、2021年2月

2. 学会発表

- ・なし

3. 報告書

- (1) (2022 山梨の子ども白書) 山梨の子ども白書編集委員 (2021.4～2022.3)

4. 科研費等研究

- ・なし

5. その他

- ・なし

II. 主な社会活動（※育児休業取得したため、2020.10～2022.11を明記）

1. 所属学会・職能団体および役職等

日本乳幼児教育学会、日本保育学会、日本特殊教育学会、日本臨床教科教育学会、日本育療学会、日本教育心理学会、日本応用教育心理学会、日本福祉教育・ボランティア学習学会、日本肢体不自由教育研究会、全日本特別支援教育研究連盟

2. 行政・関係団体活動等

- (1) 山梨県立盲学校 学校評議員（～2022.3）
- (2) 山梨県立あけぼの支援学校 学校評議員

(3) 社会福祉法人しあわせ会評議員選任・解任委員

3. 研修会・講演会等

- (1) 令和2年度山梨県立わかば支援学校ふじかわ分校 校内研修会「子ども理解から始める授業作り～子どもの発達段階を踏まえた授業実践とは～」外部講師、2021年1月7日、会場：山梨県立わかば支援学校ふじかわ分校
- (2) 令和3年度子育て支援員研修会「A4保育の原理」・「A7子どもの障害」・「B7地域の環境整備」・「B9保育者の職業倫理と配慮事項」・「B10特別の配慮を必要とする子どもへの対応」講師、2021年7月1日、8月2日、会場：ぴゅあ総合
- (3) 令和3年度山梨県立大学教員免許状更新講習『選択必修：特別支援教育』講師、2021年9月5日、会場：山梨県立大学
- (4) 令和4年度放課後児童支援員認定資格研修『科目6「障害のある子どもの理解」』講師、2022年9月14日、会場：山梨県立青少年センター別館多目的ホール
- (5) 令和4年度子育て支援員研修会「A7子どもの障害」・「B7地域の環境整備」・「B9保育者の職業倫理と配慮事項」・「B10特別の配慮を必要とする子どもへの対応」・「C6abc 見学」講師、2022年8月25日、9月2日、9月22日、会場：山梨県立大学 B 館 1 階講堂

高野 牧子

I. 主な研究活動

1. 著書・論文・作品発表・演奏等

(1) 論文

- ・(共著) 古屋祥子・高野牧子「保育者養成における表現指導 ―造形表現と身体表現による共創の場―」山梨県立大学人間福祉学部紀要第17号, pp.65-77
- ・(共著) 鳥居美佳子・太田 研・古屋祥子・奥谷佳子・高野牧子
「保育学の初学者を対象とした協働的自己分析」
山梨県立大学人間福祉学部紀要第17号, pp.103-110

(2) 学術雑誌

- ・(単著) 高野牧子 (2022) 「身体を意識して踊る」『女子体育』夏号, pp.30-33

(3) 舞台発表

- ・T.Blend (瀬川真寿美、高野牧子、浜田尚子、) 「ゆくかた 碧きほしを」
2022年9月11日 (日) ラゾーナ川崎プラザソル

II. 主な社会活動

1. 所属学会・職能団体および役職等

公益社団法人 日本女子体育連盟 副会長

日本体育学会、舞踊学会、日本保育学会、日本発育発達学会、体育科教育学会、
山梨県女子体育連盟理事

2. 行政・関係団体活動等

(1) 山梨県子ども・子育て会議委員

(2) 山梨県保育等人材確保・定着等協議会 委員長

(3) 山梨県保育・教育の質向上部会委員

(4) 山梨県社会福祉審議会 児童福祉専門分科会 養護母子審査部会委員

3. 研修会・講演会等

(1) 富士河口湖町子育て支援わいわい教室 (2歳児コース) 講師 年6回

(2) 富士河口湖町子育て支援親子ふれあい教室 (3歳児コース) 講師 年4回

(3) Fuji こどもの家バンビーノの森、身体表現活動講師 年4回

(4) (公社) 日本女子体育連盟 JAPEW-DMIL 講師 2022.10.8.～10.

(5) 令和4年度子育て支援員研修 講師 2022.9.15. 於：山梨県立大学

(6) あげぼの医療福祉センター, タムタム, 親子教室講師 年3回 Web 開催

鳥居美佳子

I. 主な研究活動

1. 著書・論文・作品発表・演奏等

研究ノート

- 1) (共著) 鳥居美佳子、太田研、古屋祥子、奥谷佳子、高野牧子「保育学の初学者を対象とした協働的自己分析」山梨県立大学人間福祉学部紀要第17号、103-110 (2022年3月)
- 2) (共著) 太田研、鳥居美佳子、古屋祥子「保育学の初学者を対象とした保育者特性および社会人基礎力に関する省察の特徴」山梨県立大学人間福祉学部紀要17号、92-102 (2022年3月)

2. 学会発表

- 1) (共同発表) 鳥居美佳子、奥谷佳子、浅田美桜、手塚沙織「感染症対策が保育におよぼす影響－食事場面における楽しく食べるための保育者の働きかけに注目して－」日本家政学会第74回大会 (オンライン開催、九州支部) (2022年5月)

II. 主な社会活動

1. 所属学会・職能団体および役職等

日本家政学会、日本機能性食品医用学会、日本食育学会、日本産前産後ケア・子育て支援学会、日本子育て学会、小児栄養研究会

2. 行政・関係団体活動等

- 1) 山梨経済同友会「やまなし女性にプラス！」プロジェクト委員会委員
- 2) 大村智自然科学賞選考委員会委員

3. 研修会・講演会等

- 1) 研究会助言者 山梨県私学教育振興会幼稚園部会西部地区研究会第4分科会 (2022年1月)
- 2) 講座講師 韮崎市ファミリーサポート養成講座 (2022年6月)
- 3) 講座講師 山梨県子育て支援員研修 (2022年8月)
- 4) 講座講師 甲斐市愛育連合会研修会 (2022年8月)

古屋 祥子

I. 主な研究活動

1. 著書・論文・作品発表・演奏等

<著書>

- (1) 武末裕子、古屋祥子 (2022) 「『手でみるプロジェクト』ワークショップ 一造形活動事例からリユース素材・粘土素材の有効性に着目して一」『美術教育の理論と実践 第2巻』pp.165-181 学術研究出版

<論文等>

- (1) 古屋祥子、高野牧子 (2022) 「保育者養成における表現指導—造形表現と身体表現による共創の場—」山梨県立大学人間福祉学部紀要第17号 pp.65-77
- (2) 太田研、鳥居美佳子、古屋祥子 (2022) 「保育学の初学者を対象とした保育者特性および社会人基礎力に関する省察の特徴」山梨県立大学人間福祉学部紀要第17号 pp.92-102
- (3) 鳥居美佳子、太田研、古屋祥子、高野牧子、奥谷佳子 (2022) 「保育学の初学者を対象とした協働的自己分析」山梨県立大学人間福祉学部紀要第17号 pp.103-110

<報告書>

- (1) 武末裕子、古屋祥子他 (2022) 「手でみるプロジェクト2021報告書」

<美術作品発表>

- (1) 古屋祥子「ORIGAMI MEDAL No,8」(アートメダル) 32th F.I.D.E.M. World Congress [Tokyo] (国際メダル協会 東京大会) ホテル雅叙園東京内 東京都指定有形文化財「百段階段」2021年12月
- (2) 古屋祥子「ORIGAMI MEDAL No,9」(アートメダル) 32th F.I.D.E.M. World Congress [Tokyo] (国際メダル協会 東京大会) ホテル雅叙園東京内 東京都指定有形文化財「百段階段」2021年12月
- (3) 古屋祥子、石川智弥「暗い背景に浮かぶ月」(立体作品) 手でみるプロジェクト2021「ふれてみる展覧会 in 台湾」「用手去看見世界」[板橋435藝文特區] 2022.1
- (4) 古屋祥子、石川智弥 「T .Blend live act 8 『ゆくかた 碧きほしを』」舞台美術 [ラゾーナ川崎プラザソル] 2022.9
- (5) 古屋祥子、石川智弥「あたたかいゆめ」(立体作品) 手でみるプロジェクト2022「ふれてみる展覧会」[山梨県立図書館交流ルーム101] 2022.10

2. 科学研究費

- (1) 日本学術振興会科学研究費助成事業 基盤研究C「地域連携による触覚鑑賞ツールについての調査・開発研究」研究分担者 H30～R4年
- (2) 日本学術振興会科学研究費助成事業 基盤研究C「感染対策をふまえた日伊・日台国際連携による触覚美術鑑賞ツール開発・実践研究」研究分担者 R4～6年

II. 主な社会活動

1. 所属学会・職能団体および役職等

- ・美術教育研究会 委員

- ・美術解剖学会 会員
- ・大学美術教育学会 会員
- ・日本藝術メダル協会（J.A.M.A.）会員
- ・国際メダル協会（F.I.D.E.M.）会員

2. 行政・関係団体活動等

- (1) 山梨大学・山梨県立大学・山梨県立図書館共催事業「手でみるプロジェクト2022」実行委員
- (2) 多文化社会の保健医療を考える会 JUNTOS 主催「外国につながるのあるこどものための日本語作文コンテスト2021」イラスト審査員

3. 研修会・講演会等

- (1) 視覚障害者文化を育てる会主催ワークショップ 招待講師 [国立民族学博物館] 2021.11
- (2) 富士河口湖町3歳児親子ふれあい教室 講師 2022.6/10,6/17
- (3) 認定こども園 Fuji こどもの家バンビーノの森 美術活動 講師 2021.11,2022.7,10
- (4) 認定こども園 学校法人市川幼稚園 美術活動 講師 2021.12,2022.6/21.28
- (5) 森のようちえん につこにこ 美術活動 講師 2022.6
- (6) 兵庫県立美術館主催「美術の中のかたち」展 関連事業ワークショップ 招待講師 2022.8
- (7) 甲府市幼児教育センター（北部、中央部）月齢別講座 2022.10/25,10/28

村木 洋子

I. 主な研究活動

1. 著書・論文・作品発表・演奏等

《紀要論文》

- ・「実技を伴うオンライン授業の手法と成果及び課題」
(山梨県立大学人間福祉学部紀要第17号 2022 54-64pp) 共著

《作品発表》

- ・山梨県観光振興課キャンペーンソング「笑顔あふれる未来」公式テーマソング 編曲及びピアノ伴奏 (県公式 YouTube 「山梨チャンネル」(2022年3月アップロード)
<https://www.youtube.com/watch?v=jH8MSXiBktY>)
- ・日本の叙情歌メドレー 4曲編曲 (ヴァイオリン及びピアノ伴奏) (2022年7月)
- ・「Les Champs-Élysées」他6曲編曲及びピアノ独奏 (2022年7月26日) 主催：福島日仏協会 (駐日フランス大使就任歓迎会)

《演奏》

- ・室内楽オーケストラによるバロックコンサートでのチェンバロ演奏 (福島市音楽堂2021年12月19日)
- ・ヴァイオリンリサイタルのピアノ伴奏 (目黒パーシモンホール 2022年2月14日)
- ・ヴァイオリンリサイタルのピアノ伴奏 (東京文化会館 2022年7月10日)
- ・サクソフォンリサイタルのピアノ伴奏 (東京・加賀町ホール 2022年10月15日)

II. 主な社会活動

1. 所属学会・職能団体および役職等

日本ピアノ教育連盟、日本ソルフェージュ研究協議会、日本音楽芸術マネジメント学会、音楽理論研究会、日本教材学会、福島日仏協会、東京芸術大学同声会福島支部長

2. 行政・関係団体活動等

- ・山梨県家庭教育支援事業企画提案審査会審査委員
- ・キャンパスネットやまなし企画運営委員会委員
- ・山梨県総合評価委員会委員
- ・社団法人日本クラシック音楽協会 日本クラシック音楽コンクール ピアノ部門 本選 審査員 (2022年10月8日) 栃木県総合文化センター

3. 研修会・講演会等

- ・甲府市幼児教育センター月齢別講座講師 (2022年10月21日北部幼児教育センター)
- ・甲府市幼児教育センター月齢別講座講師 (2022年10月28日中道つどいの広場)

山崎 宣次

I. 主な研究活動

1. 著書・論文等

著書

- ・2022/03/31「未来の学び 小学生のための生涯学習講座」(共著), 大学コンソーシアムやまなし, 学術研究出版, pp.38-59

実践報告

- ・2022/03/22「教員養成におけるイノベティブ教育の試行～オンライン授業での探究型授業の実践～」(共著), 山梨県立大学人間福祉学部紀要, 第17号, pp.123-131

2. 学会発表

- ・2021/12/4 教職課程学生・幼稚園教諭の自然体験について
(子どもと自然学会 2021年長野大会 (オンライン開催))
- ・2022/3/19 学習振り返り活動時の教師支援のための個票ファイルの開発
(日本教育工学会 第40回春季全国大会 (オンライン開催))
- ・2022/8/21 教員養成におけるオンラインを使ったイノベティブ教育の試行ー総合的な探究の時間に向けてー
(日本教育情報学会 第38回年会 十文字学園女子大学 (ハイブリッド開催))
- ・2022/9/17 漢字・計算力向上のための振り返り活動の効果について
(日本科学教育学会第46回年会 愛知教育大学 (オンライン開催))

3. 外部資金

- ・イノベティブ教育の実践に向けた教職志望の学生の学習に関する縦断的研究
日本学術振興会 科学研究費助成：基盤研究(C)
研究期間：2021年4月～2024年3月
代表者：羽野ゆつ子 (大阪成蹊大学)、研究分担者：山崎宣次ほか
- ・学力向上のための基盤作りに関する調査研究文部科学省 (テーマ3：効果的な補充学習・家庭学習の実施)
研究期間：2019年4月～2022年3月
契約者：岐阜県羽島市教育委員会、分析専門チーム担当：山崎宣次ほか

II 主な社会活動

1. 所属学会

日本理科教育学会・日本科学教育学会・日本教育工学会・日本教育情報学会 (評議員)・
教育システム情報学会・人間福祉学会・子どもと自然学会 (理事・学会誌編集委員)

2. 行政・関係団体活動等

- ・2020年4月～現在 甲府市廃棄物減量等推進審議会委員

- 2017年8月～現在 岐阜大学教育学部附属学習協創開発センター プロジェクト研究員（産官学による学力向上協創プロジェクト）